

一般財団法人日本ヘルスケア協会（JAHI）

倫理委員会 第13回会合 議事要旨

開催日時：2021年8月27日（金）14:00～15:00

会場：虎ノ門・JAHI会議室B

出席委員：上原委員長、大友委員、万場委員（以上、会場参加委員）、
石下委員、太田委員、小林委員（以上、WEB参加委員）
（事務局）佐藤
（外部委員を含めて委員6人が参加し、委員会は成立）

内容：

1. 開会

2. 議事

（1）日本ヘルスケア協会の動き

（2）議事

- 1) 報告事項（1）「サンドボックス実証実験の実施状況」およびムック本『野菜は7色で食べよう』刊行報告
- 2) 報告事項（2）「ペットとの共生によるヘルスケア普及推進部会・『With コロナペットとの新しい暮らし方～共に健康に暮らすために』動画の完成」
- 3) 審議事項・新規申請「調剤薬局及びドラッグストア店頭における『フレイル予防のためのポケットリーフレット』を活用したフレイル啓蒙活動」
- 4) ディスカッション

3. 次回の開催日程調整

4. 閉会

配布資料

- 資料1 ニュースリリース特別号・コンテンツ一覧・パンフレット
- 資料2 「サンドボックス実証実験の実施状況」およびムック本サンプル
- 資料3 『With コロナペットとの新しい暮らし方～共に健康に暮らすために』概要
- 資料4 「調剤薬局及びドラッグストア店頭における『フレイル予防のためのポケットリーフレット』を活用したフレイル啓蒙活動」申請書・活動計画書・サンプル

議事要旨

1. 本日は、予定通りWEB併用で開催。
2. 事務局からニュースリリース特別号に基づいて日本ヘルスケア協会の動きを9月6日（月）から12日（日）までWEBで開催される「2021年JAHI活動報告会」の紹介に絞って報告。
 - (1) 基調講演「新型コロナウイルス感染症との対峙」（東邦大学舘田一博教授）、(2) 在宅感染症予防部会の「おうちマップ」と「インフルエンザ予報」、野菜で健康推進部会の「サンドボックス実証」等の重要な報告が含まれること、(3) 部会・研究会等計18本のコンテンツで、通しで540分程のプログラムの中から選択して視聴することを勧めている。
3. 続いて、報告事項(1)「サンドボックス制度実証実験の実施状況」およびムック本『野菜は7色で食べよう』刊行報告では、17社27店舗における実証実験をほぼ終え、8月31日で実験期間が無事終了することが報告された。

以上の報告に対して、上原委員長から、このプロジェクトの今後のスケジュールに関して質問があり、事務局から、期間終了後3か月以内に内閣官房宛ての最終報告書を提出するが、野菜で健康推進部会では、実証実験を通常運営に繋げていくかを企図しており、内閣官房を間に挟んで、農水省・消費者庁とJAHIの継続的な会議体を続け、全国の野菜・果物小売事業者が問題無く店頭POP表示することのできるマニュアルを編集すること。また、小売事業者団体の協力により、全国ベースで普及啓発を図る予定であることが報告された。折しも8月26日には万場委員の日本通信販売協会から「通信販売広告における食品の表示に関する方針」が策定・公表されており、万場委員からその背景・概要が紹介された。
4. 次に、報告事項(2)ペットとの共生によるヘルスケア普及推進部会による『Withコロナペットとの新しい暮らし方～共に健康に暮らすために』動画が完成し、6月2日からYouTubeとJAHIホームページで公開され、さらに関連団体や部会構成員企業のホームページにアップしたことが報告された。動画は4分強の短いものであるため、委員会の中で試写が行われた。ちなみに、JAHIホームページからこの動画を見たNHK津放送局が番組「おはよう日本」（7月20日放送）への引用許可を求め

てきたことも報告された。

5. 次に、倫理審査の申請のあった「調剤薬局及びドラッグストア店頭における『フレイル予防のためのポケットリーフレット』を活用したフレイル啓蒙活動」の審査が行われた。

「フレイル」は高齢化の進む国内の大きな課題となっており、さらにコロナによる外出自粛などの要因でフレイル人口が増加していることが懸念されることから、薬局やドラッグストアでのフレイルチェックや、お客様とのコミュニケーションのきっかけになることを期待して「フレイルリーフレット」を「ドラッグストア在宅介護推進部会」の構成員である日清オイリオグループ(株)が作成したもの。東京都健康長寿医療センターの監修を受けている。

事務局から「倫理審査申請書」と「活動計画書」を読み上げ、リーフレット・サンプルのオモテ面・ウラ面の紹介を行った。

以上の説明に対して、委員各位からは次のようなコメントが出された。

- 倫理委員会審査は、研究調査活動あるいはイベント等のその他活動の実施に当たって、倫理的・科学的観点から、予めその活動の妥当性を検討することを目的としており、本件のように、既に然るべき機関の監修を得ており、参加者の安全性の確保や個人情報の保護等の問題が無い案件に関しては、当倫理委員会の審査の埒外であると考える。
- 当倫理委員会の審査の埒外であるにしても、リーフレットの「簡易フレイルチェック」の結論の出し方に関してはいささか問題があるように感じる。①ひとつも当てはまらない方は「健康」と言い切ってしまうて良いか。そう言い切ることで、フレイル以外の疾病に対する注意喚起を損ない、読者をして適切なタイミングでの医療機関への受診の機会を妨げる可能性もあり、法的責任につながらないとはいえない。こうしたリスクを踏まえた文言（注記の付記を含む）の検討が必要ではないか。②「食べる」ページの「さあにぎやかにいただく」に関しては、量の基準が示されていないので、バランスのとれた食事になるかは不明。
- 活動の内容は有意義なものと考える。

以上、この活動に関して、本委員会として出すべき判断は無い、との結論となった。

6. 以上で第13回委員会は終了し、委員長から次回開催日程を諮った結果、10月15日（金）14:00～15:30 虎ノ門事務所からWEB併用で開催されることに決した。